

第 10 小委員会

道 德

別紙様式2

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程野仁様

第12地区教科書採択調査委員会第10小委員会委員長 椿原雅章

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、道徳の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された6者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の調査委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された6者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍「新訂 新しい道徳」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ 今までに命の大切さやありがたさを実感したのはどのようなときかを考える活動
 - ・第2学年～ 生命の尊さを心に刻んで生きるにはどのような気持ちが大切かを考える活動
 - ・第3学年～ 命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行しよりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返使ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(2) 教育出版「中学道徳とびだそう未来へ」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ 人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動
 - ・第2学年～ 命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動
 - ・第3学年～ 命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、用新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(3) 光村図書「中学道徳きみがいちばんひかるとき」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ 身近な生き物の命を尊重するためにはどのようなことが大切かを考える活動
 - ・第2学年～ 生きていることが当たり前ではないと感じるのはどのようなときかを考える活動
 - ・第3学年～ 自他の命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、各学年で、道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の使学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や用目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(4) 日本文教出版「中学道徳あすを生きる 中学道徳あすを生きる道徳ノート」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ 人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動
 - ・第2学年～ 自分の周りにある支え合う生命には、どのようなものがあるかを考える活動
 - ・第3学年～ 命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話し合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(5) 学研「明日への扉」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ 命の偶然性や連續性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動
 - ・第2学年～ 生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるかを考える活動
 - ・第3学年～ 自分にとって命を大切にするということは、どのようなことかを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「見つけよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」使を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(6) 廣済堂あかつき 「中学生の道徳自分を見つめる 中学生の道徳ノート自分を見つめる」

「中学生の道徳自分を考える 中学生の道徳ノート自分を考える」

「中学生の道徳自分をのばす 中学生の道徳ノート自分をのばす」

- 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが出来るようになっている。
 - ・第1学年～ この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動
 - ・第2学年～ 命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で生命の尊厳を守るために何が大切なことが大切かを考える活動
 - ・第3学年～ 人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るために何が大切なことが大切かを考える活動
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。
- 使用上の配慮等
 - ・各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の

四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・701 道徳・801 道徳・901	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第1学年～ 今までに、命の大切さやありがたさを実感したのは、どのようなときかを考える活動 第2学年～ 生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが大切かを考える活動 第3学年～ 命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動				
○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第1学年～ 郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときかを考える活動 第2学年～ 郷土のために自分ができることは、どのようなことがあるかを考える活動 第3学年～ 自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動				
○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。 ・いじめの問題に関する教材を各学年とも集中して特集し、いじめの態様について考察するため各学年でイラストやコミックスを活用し、自分事として考えやすく取り組めるよう工夫されている。				
○ 生徒が自分で学び方や学びの道筋がわかる工夫について 各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に関わる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学びの振り返りや、学びの記録に関する工夫について 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 全ての生徒の学びやすさの工夫について 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。				
○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材として、第1学年で「植松 努」を取り上げ、第2学年で「霧多布」、第3学年で「小樽・藻岩山」の地名を取り扱っている。				

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・702 道徳・802 道徳・902	中学道徳1とびだそう未来へ 中学道徳2とびだそう未来へ 中学道徳3とびだそう未来へ
○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にできるようになっている。				
第1学年～ 人は何のためにこの世に生まれ、何のために生きているのかを考える活動 第2学年～ 命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動 第3学年～ 命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動				
○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。				
第1学年～ 地域の伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動 第2学年～ 伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活動 第3学年～ 日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものには、どのようなものがあるかを考える活動				
○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材や、異なる立場からの考え方や意見を取り上げた教材など、生徒自身の根拠を問い合わせ、どうあることがよいのかについて多面的・多角的に考えを深めができるようになっている。 ・いじめについて考える学習において、「いじめや差別のない社会」を深く考えさせるため、複数の教材やコラムをまとめるなど、ユニット化を図り、多面的・多角的に考えを深めさせるような工夫がなされている。				
○ 生徒が自分で学び方や学びの道筋がわかる工夫について ・道徳の基本的な学習の流れを学ぶことができる「道徳科で学びを深めるために」が全学年配置されており、道徳の学び方がわかるようになっている。				
○ 学びの振り返りや学びの記録に関する工夫について ・巻末に授業で学んだことや感想を毎時間記入できるページや学期毎や1年間の振り返りを記入することができるページが配置されている。				
○ すべての生徒の学びやすさの工夫について ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。				
○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材は、第1学年に赤平市出身の植松努氏を取り上げている。 <u>第2学年には釧路湿原について、第3学年にはアイヌ文化についての教材が掲載されている。</u>				

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・703 道徳・803 道徳・903	中学道徳1きみがいちばんひかるとき 中学道徳2きみがいちばんひかるとき 中学道徳3きみがいちばんひかるとき
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年～ 身近な生き物の命を尊重するためには、何が大切なかを考える活動 第2学年～ 生きていることが当たり前ではないと感じるのは、どのようなときかを考える活動 第3学年～ 生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年～ 自分が住む郷土の伝統や文化をつくり、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動 第2学年～ 郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第3学年～ 郷土の伝統や文化を継承していくためには、何が大切なかを考える活動 			
排列容・分量構等成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、以下のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各教材で道徳的な問題を考える発問が示されており、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。 ・いじめ問題に関する教材とあわせて、「広げよう」のページを設けるなど、体験的な学習を通じて「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるよう工夫されている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」「道徳の授業を始めよう」が配置されており、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」や「深めよう」のページを配置し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ すべての生徒が学習しやすいように、ユニバーサルデザインフォントを採用とともに、カラーユニバーサルデザインや特別支援教育、人権教育の観点からも配慮がなされている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材は、第1学年に知床半島について、第2学年にアイヌ文化の伝承について、第3学年に小樽市を舞台にした教材についての教材が掲載されている。 			

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・704、道徳・705 道徳・804、道徳・805 道徳・904、道徳・905	中学道徳あすを生きる1、中学道徳あすを生きる1道徳ノート 中学道徳あすを生きる2、中学道徳あすを生きる2道徳ノート 中学道徳あすを生きる3、中学道徳あすを生きる3道徳ノート
取扱内容		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることを考えることができるようになっている。 第1学年～ 人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかについて考える活動 第2学年～ 自分の周りにある支え合う生命には、どのようなものがあるかについて考える活動 第3学年～ 命のつながりや命をつないでいくこととはどのようなことかを考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第1学年～ 自自分が住む地域の伝統や文化にはどのような意味があるかについて考える活動 第2学年～ 郷土の伝統や文化を絶やさないために必要なことは何かについて考える活動 第3学年～ 伝統や文化を受け継ぐために大切にすべきことは何かについて考える活動 		
排列内容・の分量構成等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、以下のような工夫がなされている <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話し合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断・実行し、よりよく生きるために資質・能力が養われるよう工夫されている。 ・「いじめ」問題に関しては、「いじめと向き合う」という形で重点項目として扱っている。また、自分ごととして主体的に考え議論できるよう、多様な教材やコラムが掲載されている。 		
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年に「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」のページを設け、学習内容や学習の進め方について解説することにより、生徒が学びの見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ <u>自分の考えを記入する別冊「道徳ノート」</u>によって、言語活動を充実させ、学びの積み重ねや自らの成長・変化を振り返り、実感することができるだけでなく、他者の意見を記入する欄により、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。また、教師の指導や評価にも生かすができるよう工夫されている。 ○ すべての生徒が等しく学べるように、カラー・バリアフリー、ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用し、さらに、中学校で学習する漢字には、教材ごとに振り仮名をつけるなど、特別支援教育の視点から見た配慮がなされている。 		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材については、第1学年で1教材（洞爺湖温泉）、第2学年で2教材（えりも町、小樽市）が取り扱われている。 		

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・706 道徳・806 道徳・906	明日への扉① 明日への扉② 明日への扉③
取扱内容		<ul style="list-style-type: none"> ○ 領域や内容は以下の学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 <p>第1学年～ 命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動を様々なテーマから選ぶことができる。</p> <p>第2学年～ よりよく生きるために、自分事として生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりできる活動が盛り込まれている。</p> <p>第3学年～ 自分にとって、命を大切にするということは、どのようなことかを考える活動が盛り込まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 <p>第1学年～ 郷土の伝統を守ることにどう向き合っていくかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自自分が住んでいる地域に誇りを感じるのは、どのような時かを考える活動</p> <p>第3学年～ 地域の伝統や文化の継承と発展にどのように関わっていくかを考える活動</p>		
排列内容・分量構成等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「見つけよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に対する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう工夫されている。 ・いじめ防止につながる教材を特設ページにおいて掲載したり、「いのち」のマークを付けたりするなど、<u>生命尊重やいじめ防止について、生徒がいじめについて多面的に深く考え、議論することができる工夫がなされている。</u> 		
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自分で学び方や学びの道筋がわかる工夫について <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考えを深める4つのステップ」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 学びの振り返りや学びの記録に関する工夫について <ul style="list-style-type: none"> ・各項目で気がついたところや気になった所を書き留めることができるメモ欄が配置されている。 ・各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に関わる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材としては1学年「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦」、2学年「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」、3学年「襟裳のこと」が扱われている。 		

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・707 道徳・708 道徳・807 道徳・808 道徳・907 道徳・908	中学生の道徳自分を見つめる1、中学生の道徳ノート自分を見つめる1 中学生の道徳自分を考える2、中学生の道徳ノート自分を考える2 中学生の道徳自分をのばす3、中学生の道徳ノート自分をのばす3
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第1学年～ この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動 第2学年～ 命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で、生命の尊厳を守るためにには、どのようなことが大切かを考える活動 第3学年～ <u>人の生死に対して多様な考えがある</u>中で、生命の尊厳を守るためにには、どのようなことが大切かを考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第1学年～ 郷土の特色の維持や発展のために、自分にできることを考える活動 第2学年～ 長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動 第3学年～ <u>郷土の発展のために、自分にできることを考える活動</u> 			
排列容・分量構成等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるよう工夫されている。 ・いじめ問題については、いじめを直接的に扱った教材だけではなく、「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集を設け、重点的な指導が図られるようにしている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自分で学び方や学びの道筋がわかる工夫について 各学年に、教材ごとに考えを広げたり深めたりするための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 学びの振り返りや学びの記録に関する工夫について <u>各学年の別冊（各学年44ページ）</u>に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性にかかる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全ての生徒の学びやすさの工夫について 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、字は大きく読みやすいなど使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 北海道の地域素材については、第1学年が「人間愛の精神で支え合って 糸」、第2学年が「野生の猛禽を守るために」、第3学年が「襟裳のこと」が扱われている。 			